

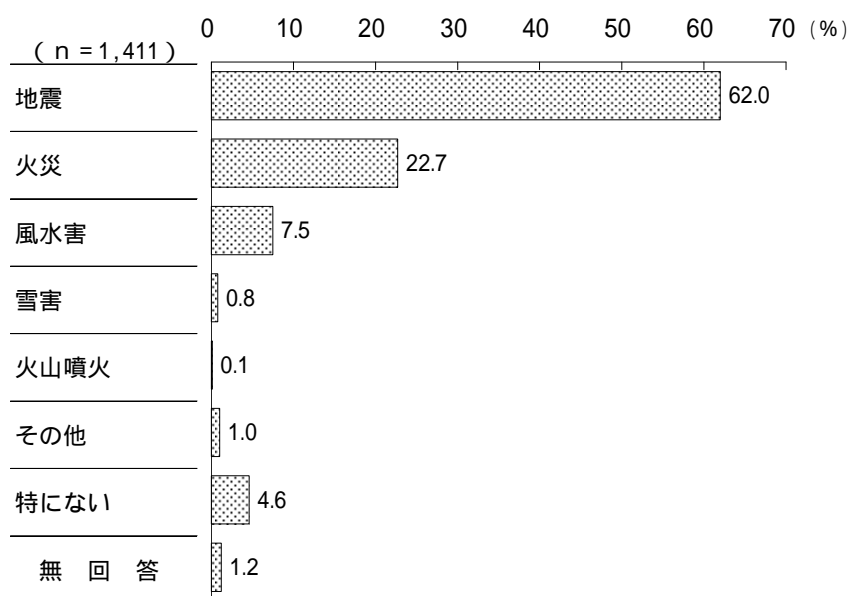
6 地域防災について

(1) 最も不安に思う災害

問 10 あなたが、日ごろ最も不安に思う災害はどれですか。次の中から1つ選んでください。

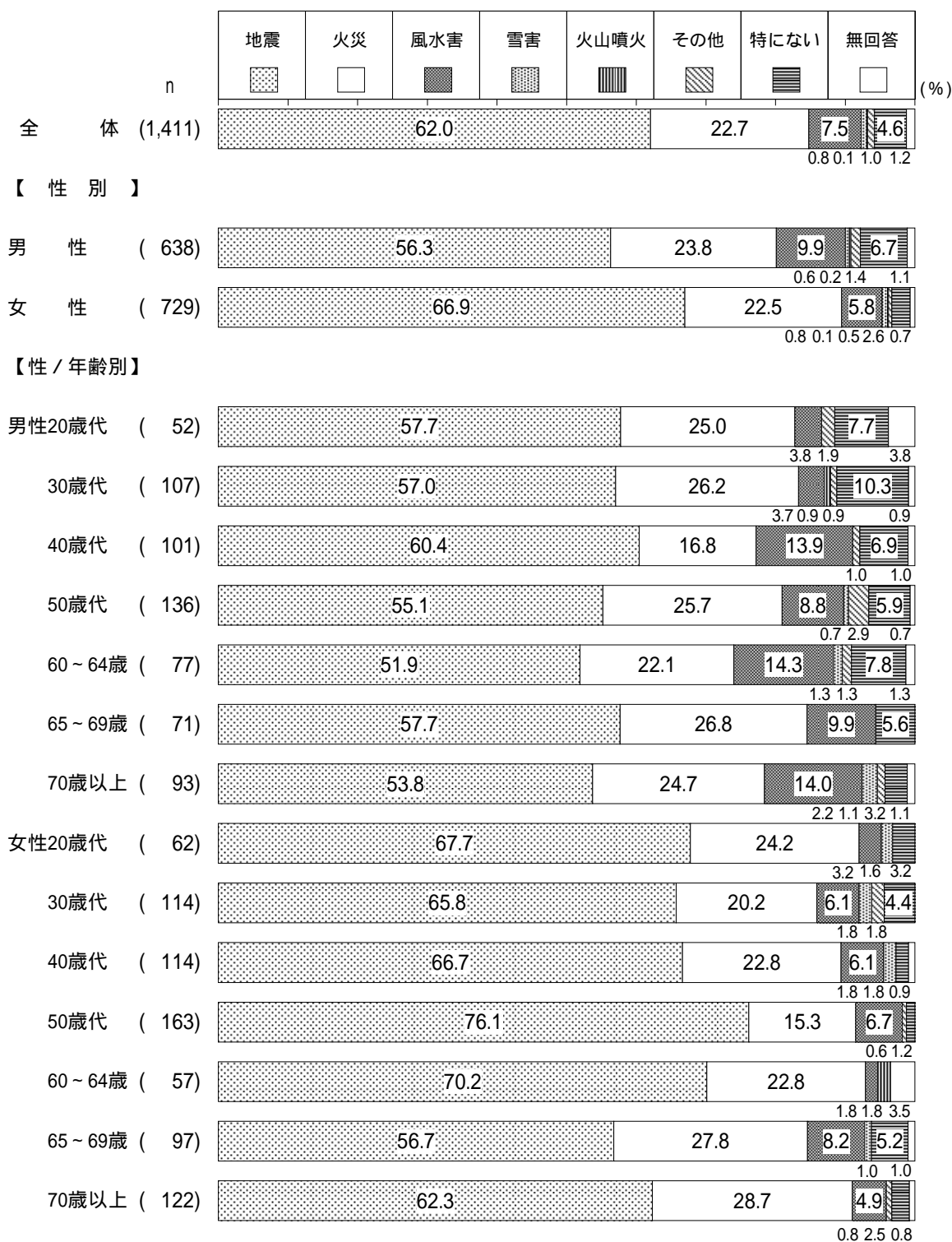
[n = 1,411]

1 地震	62.0%
2 火山噴火	0.1
3 風水害	7.5
4 雪害	0.8
5 火災	22.7
6 その他	1.0
7 特にない	4.6
(無回答)	1.2



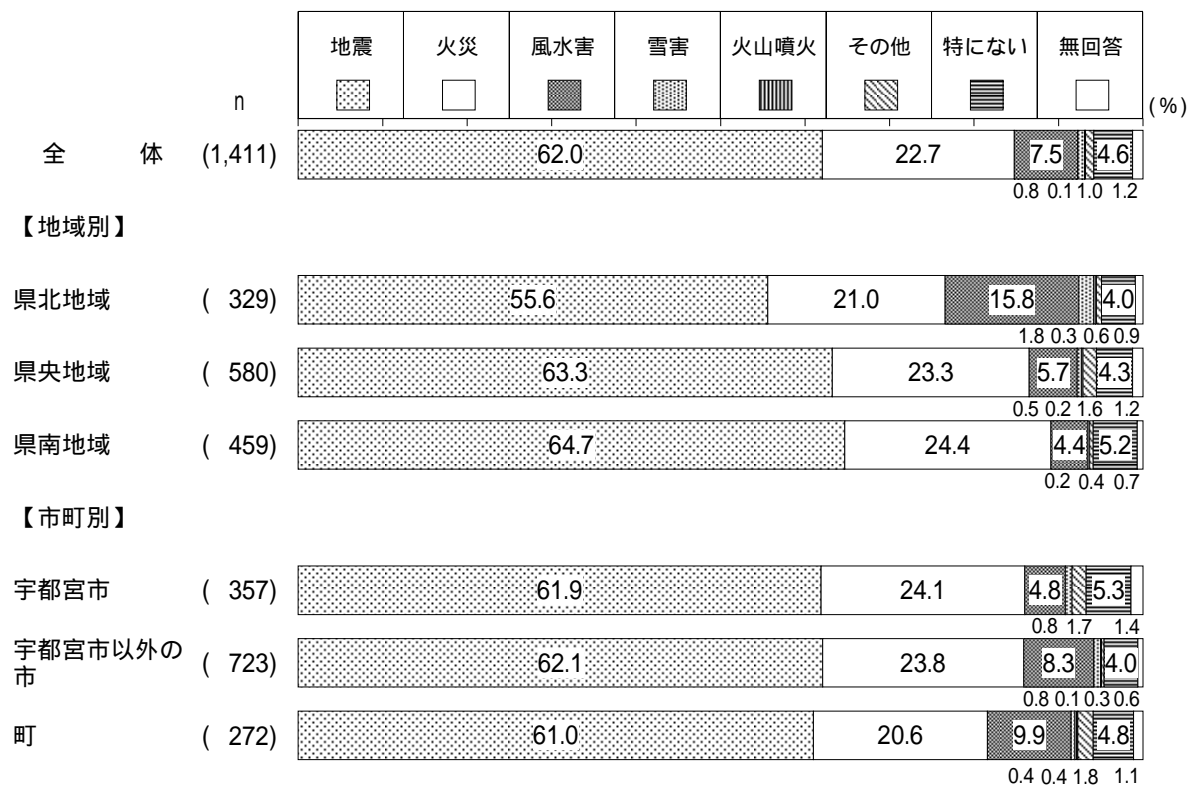
- 全体で見ると、「地震」(62.0%) が6割を超え最も高く、次いで「火災」(22.7%)、「風水害」(7.5%)、「雪害」(0.8%)、「火山噴火」(0.1%)の順となっている。

[性別・性 / 年齢別]



- ・ 性別で見ると、「地震」では 女性（66.9%）が 男性（56.3%）より 10.6 ポイント高く、男女間の差が最も大きくなっている。
- ・ 性 / 年齢別で見ると、「地震」では 女性50歳代 が76.1%と最も高くなっている。

[地域別・市町別]



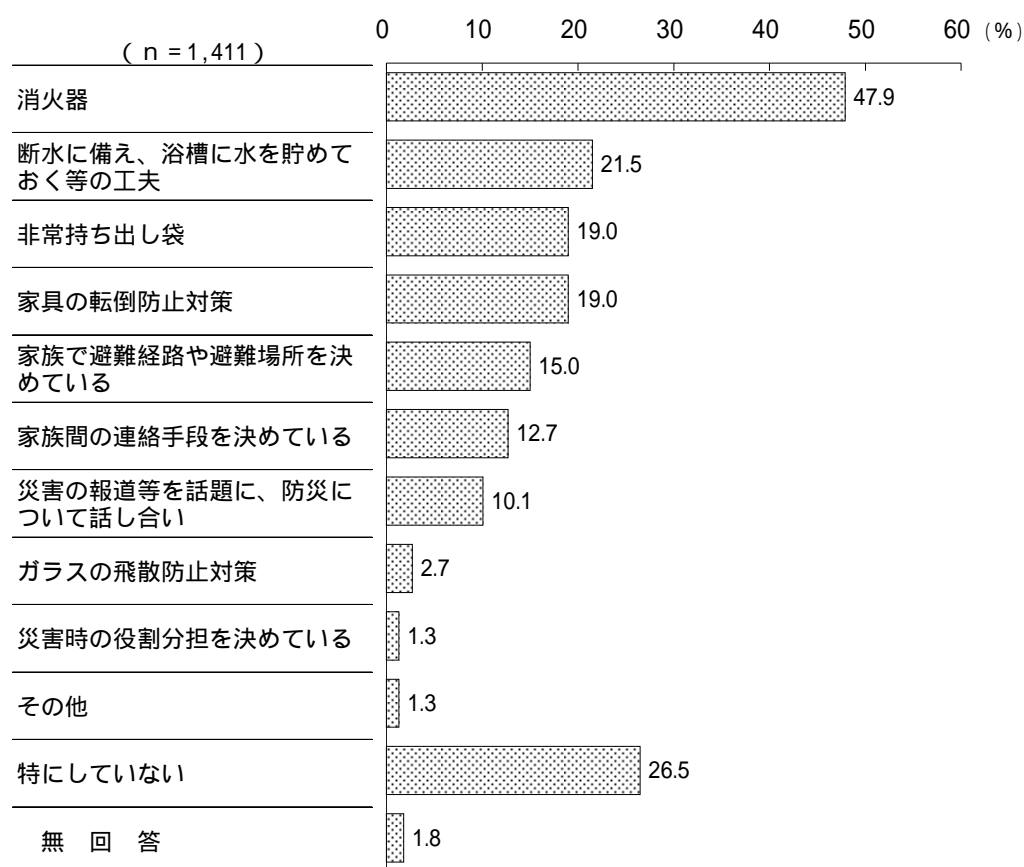
- ・ 地域別で見ると、「地震」では 県南地域（64.7%）と 県央地域（63.3%）が6割以上となっている。また、全体平均と比べて差が最も大きくみられるのは「風水害」の 県北地域（15.8%）となっている。
- ・ 市町別で見ると、「地震」がすべての市町で6割を超えている。

(2) 災害に対する備え

問 11 あなたの家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。次の中からいくつかを選んでください。

[n = 1,411]

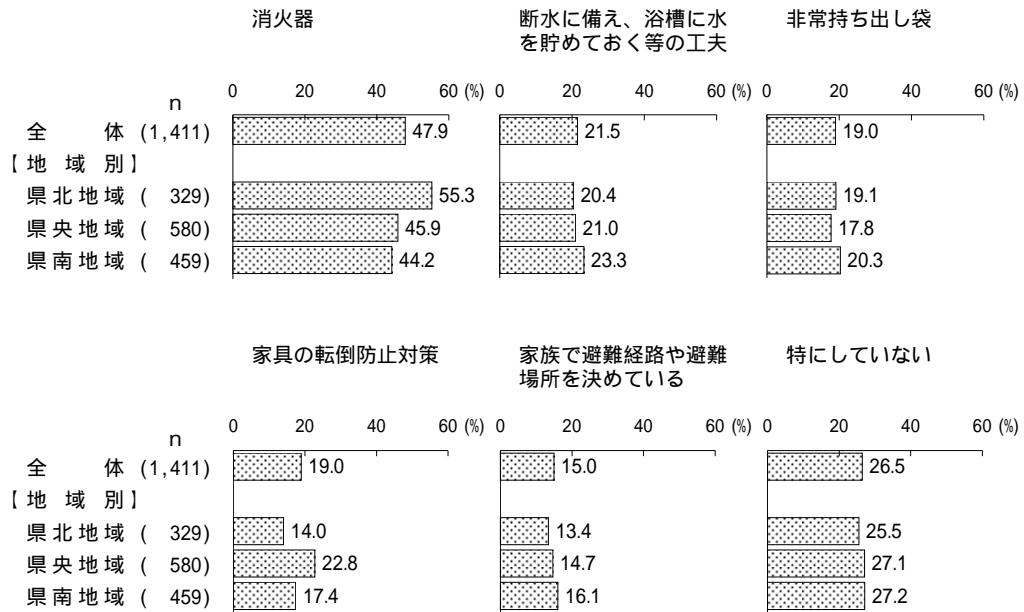
1 消火器	47.9%
2 断水に備え、浴槽に水を貯めておく等の工夫	21.5
3 非常持ち出し袋	19.0
4 家具の転倒防止対策	19.0
5 家族で避難経路や避難場所を決めている	15.0
6 災害の報道等を話題に、防災について話し合い	10.1
7 家族間の連絡手段を決めている	12.7
8 ガラスの飛散防止対策	2.7
9 災害時の役割分担を決めている	1.3
10 その他	1.3
11 特にしていない	26.5
(無回答)	1.8



- 全体で見ると、「消火器」(47.9%) が5割近くと最も高く、次いで「断水に備え、浴槽に水を貯めておく等の工夫」(21.5%)、「非常持ち出し袋」と「家具の転倒防止対策」(ともに19.0%)の順となっている。また、「特にしていない」が26.5%となっている。

[地域別]

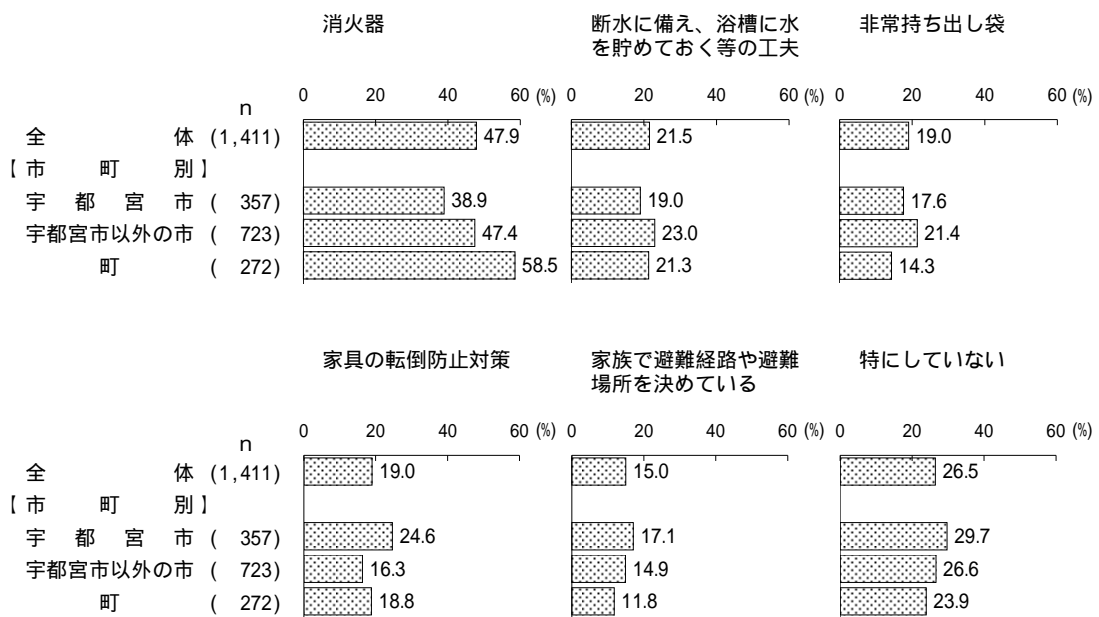
(上位 5 項目 + 特にしていない)



- 地域別でみると、「消火器」では 県北地域 が55.3%と最も高くなっている。また、 県央地域 のうち全体平均と比べて差が最も大きくみられるのは「家具の転倒防止対策」の22.8%となっている。

[市町別]

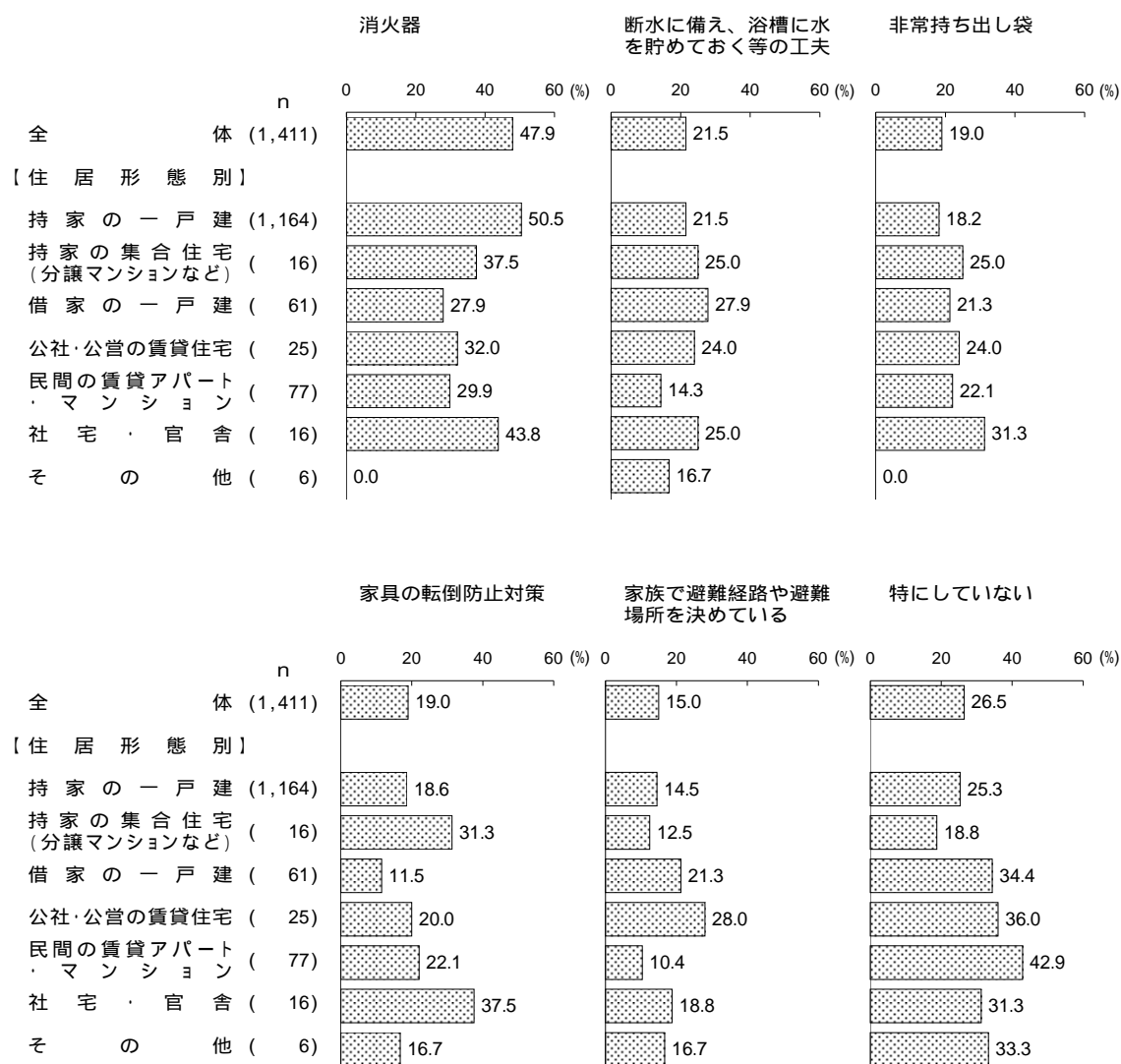
(上位 5 項目 + 特にしていない)



- 市町別でみると、「消火器」では 町 が58.5%と最も高く、「家具の転倒防止対策」では 宇都宮市 が24.6%と他の市町と比べて最も高くなっている。

[住居形態別]

(上位5項目+特にしていない)



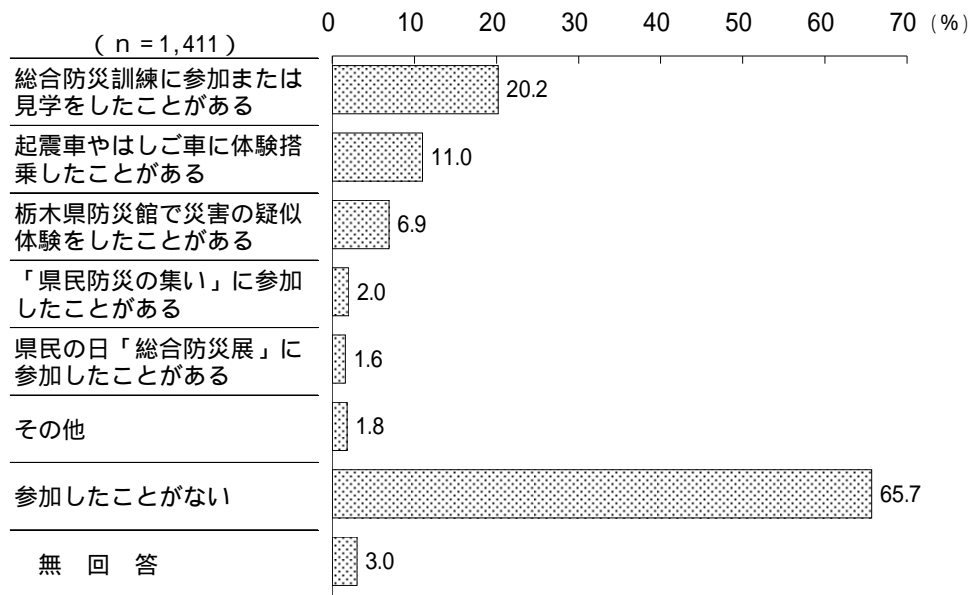
- ・ 住居形態別でみると、「消火器」では 持家の一戸建て が50.5%と最も高くなっている。

(3) 防災行事への参加状況

問 12 栃木県では、防災週間等に各種防災行事を行っています。参加したことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n = 1,411]

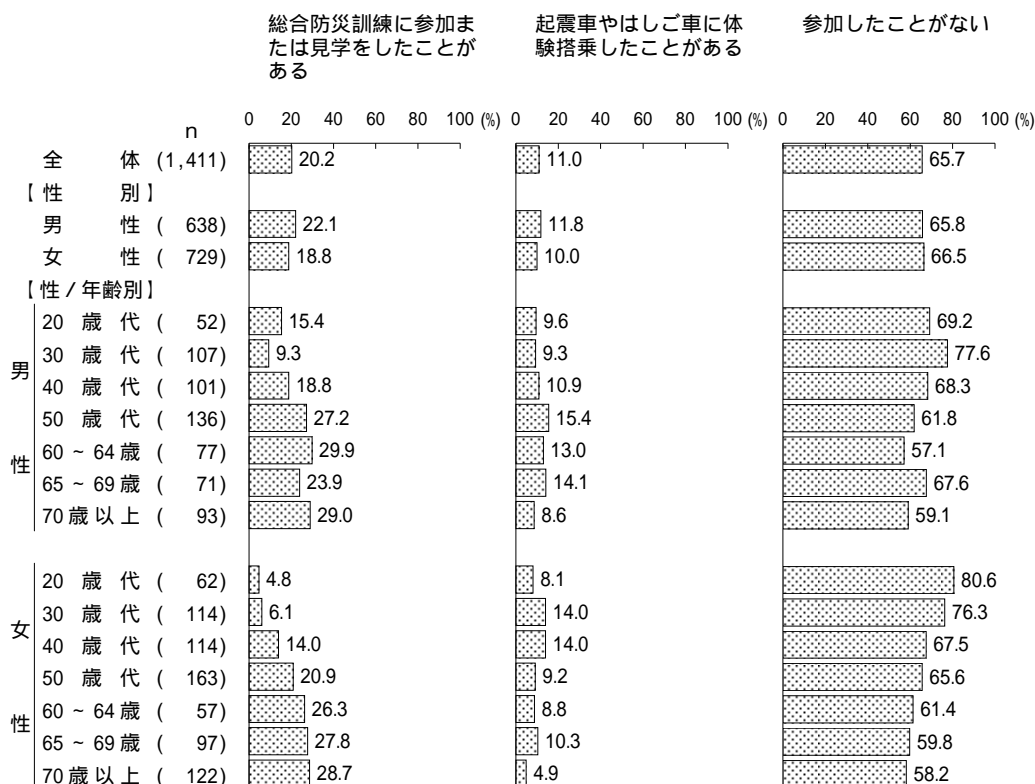
1	総合防災訓練に参加または見学をしたことがある	20.2%
2	起震車やはしご車に体験搭乗したことがある	11.0
3	栃木県防災館で災害の疑似体験をしたことがある	6.9
4	「県民防災の集い」に参加したことがある	2.0
5	県民の日「総合防災展」に参加したことがある	1.6
6	その他	1.8
7	参加したことがない	65.7
	(無回答)	3.0



- 全体で見ると、「総合防災訓練に参加または見学をしたことがある」(20.2%)が2割と最も高く、次いで「起震車やはしご車に体験搭乗したことがある」(11.0%)、「栃木県防災館で災害の疑似体験をしたことがある」(6.9%)の順となっている。また、「参加したことがない」(65.7%)が6割半ばとなっている。

[性別・性 / 年齢別]

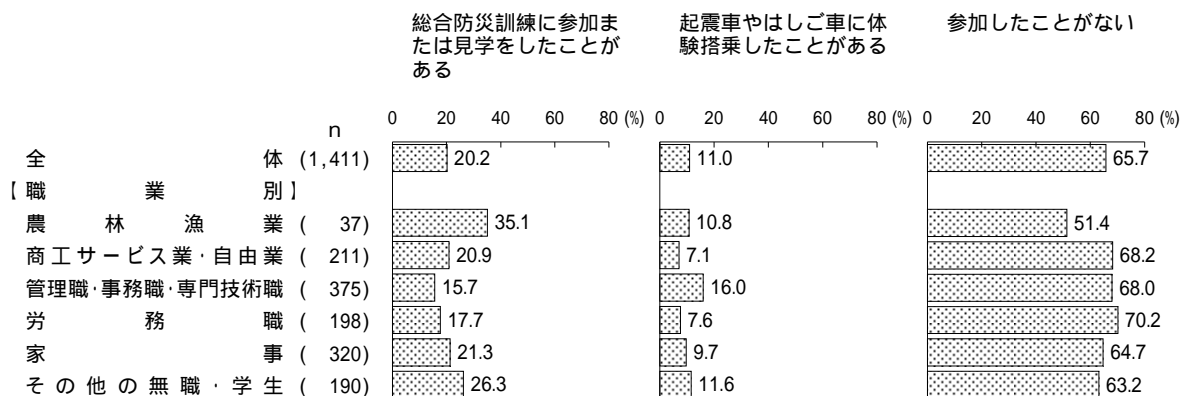
(上位 2 項目 + 参加したことがない)



- ・ 性 / 年齢別でみると、「総合防災訓練に参加または見学をしたことがある」では女性は高い年代ほど割合が高い傾向となっている。また、「参加したことがない」では女性は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、女性 20 歳代 が 80.6% と最も高く、次に 男性 30 歳代 が 77.6% と高くなっている。

[職業別]

(上位 2 項目 + 参加したことがない)



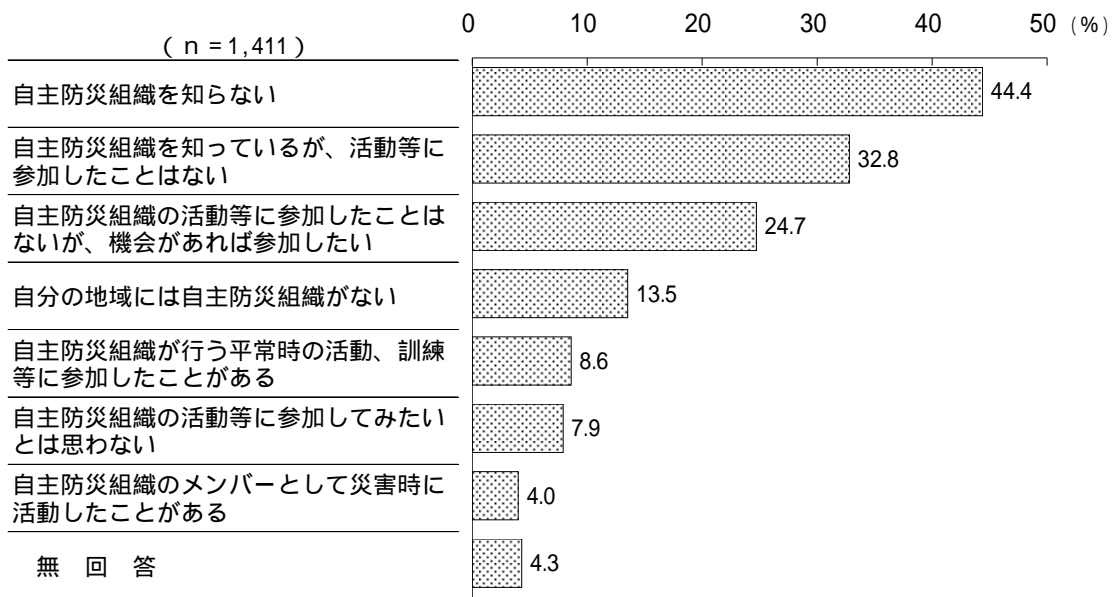
- ・ 職業別で全体平均と比べて差が最も大きくみられるのは、「総合防災訓練に参加または見学をしたことがある」の 農林漁業 (35.1%) となっている。

(4) 自主防災組織の認知と意識

問 13 自主防災組織（自治会・町内会などを母体とした、地域住民が防災活動をする組織）について、次の中から2つまで選んでください。

[n = 1,411]

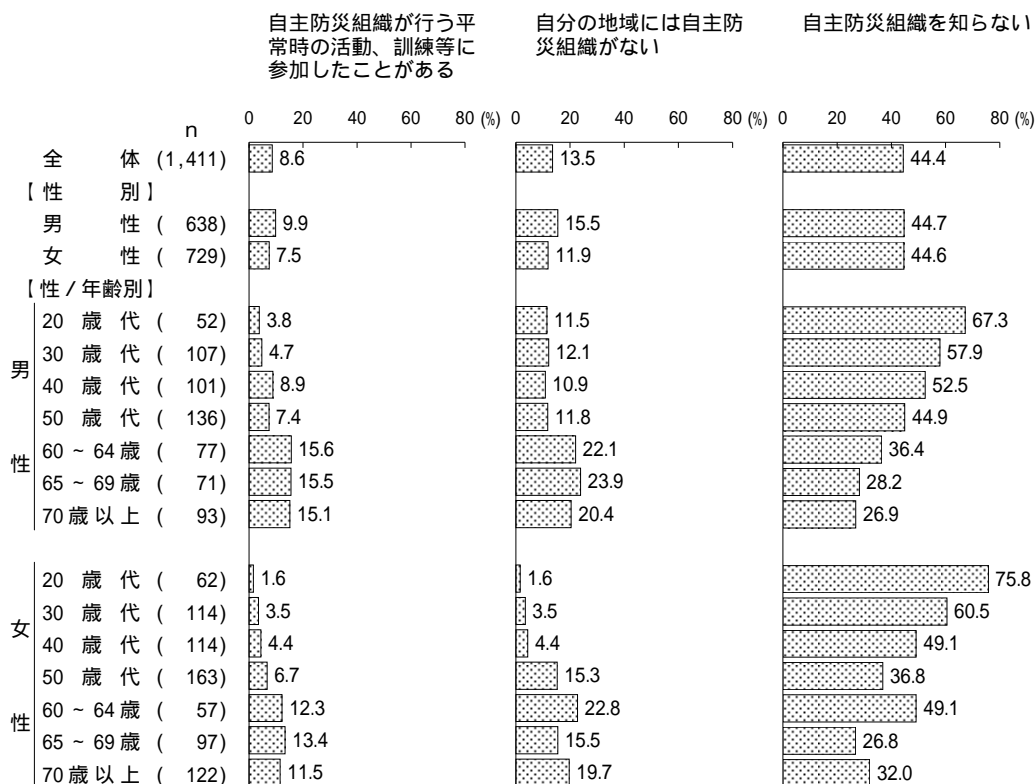
1 自主防災組織を知らない	44.4%
2 自主防災組織を知っているが、活動等に参加したことはない	32.8
3 自主防災組織が行う平常時の活動、訓練等に参加したことがある	8.6
4 自主防災組織のメンバーとして災害時に活動したことがある	4.0
5 自主防災組織の活動等に参加したことはないが、機会があれば参加したい	24.7
6 自主防災組織の活動等に参加してみたいとは思わない	7.9
7 自分の地域には自主防災組織がない	13.5
(無回答)	4.3



- 全体で見ると、「自主防災組織を知らない」(44.4%) が4割半ばと最も高く、次いで「自主防災組織を知っているが、活動等に参加したことはない」(32.8%)、「自主防災組織の活動等に参加したことはないが、機会があれば参加したい」(24.7%)、「自分の地域には自主防災組織がない」(13.5%)の順となっている。

[性別・性 / 年齢別]

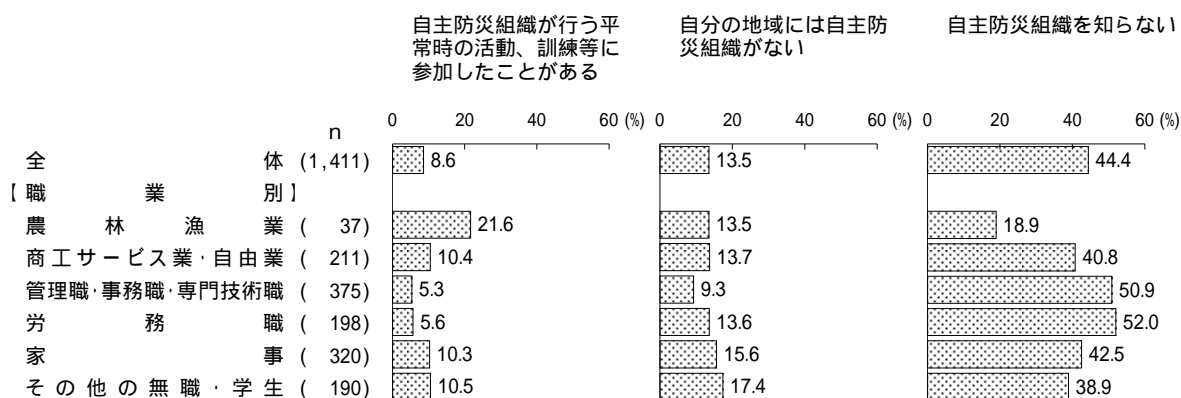
(平常時の活動等に参加したことがある・組織がない・組織を知らない)



- ・ 性 / 年齢別で見ると、「自主防災組織を知らない」では男女ともに低い年代ほど比較的割合が高い傾向にあり、女性 20 歳代 が 75.8% と最も高く、次に 男性 20 歳代 が 67.3% と高くなっている。

[職業別]

(平常時の活動等に参加したことがある・組織がない・組織を知らない)



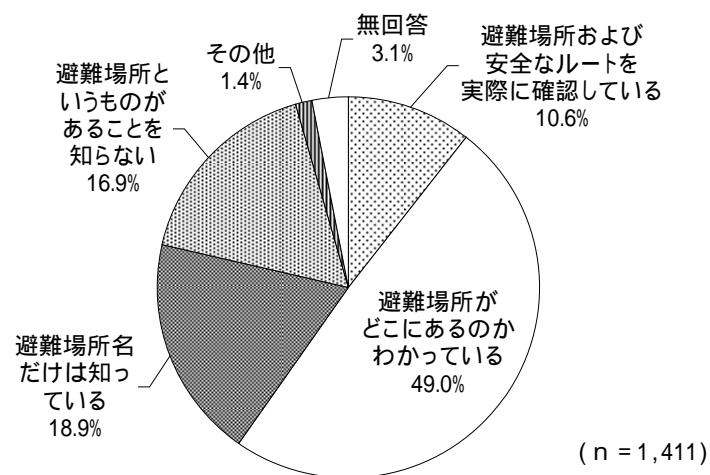
- ・ 職業別で見ると、農林漁業 では「自主防災組織が行う平常時の活動、訓練等に参加したことがある」が 21.6% と他の職業と比べて最も高くなっている。

(5) 指定避難場所の認知度

問 14 大規模災害発生時に避難することになる指定避難場所について、どの程度知っていますか。次の中から1つ選んでください。

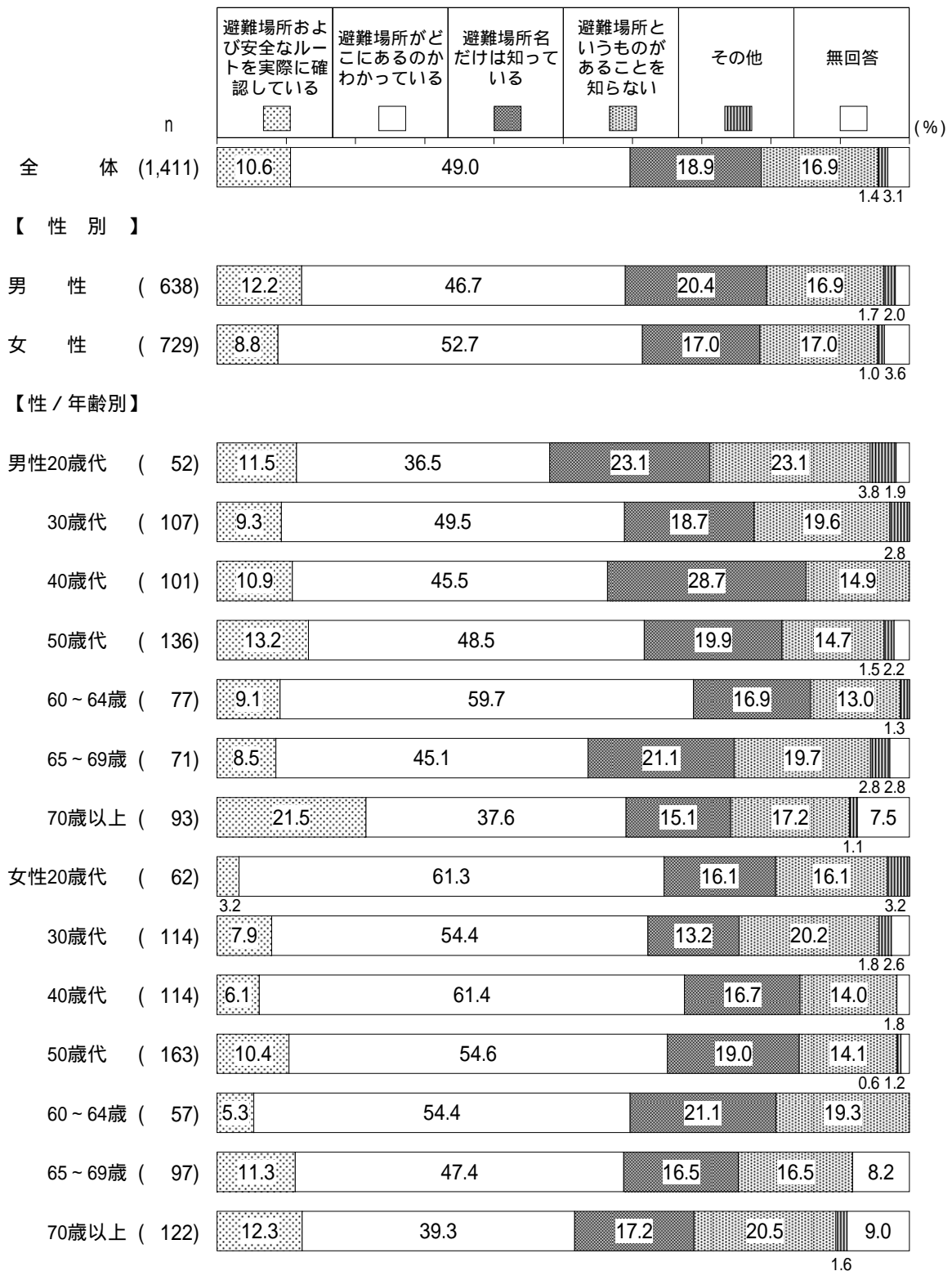
[n = 1,411]

1 避難場所および安全なルートを実際に確認している	10.6%
2 避難場所がどこにあるのかわかっている	49.0
3 避難場所名だけは知っている	18.9
4 避難場所というものがあることを知らない	16.9
5 その他	1.4
(無回答)	3.1



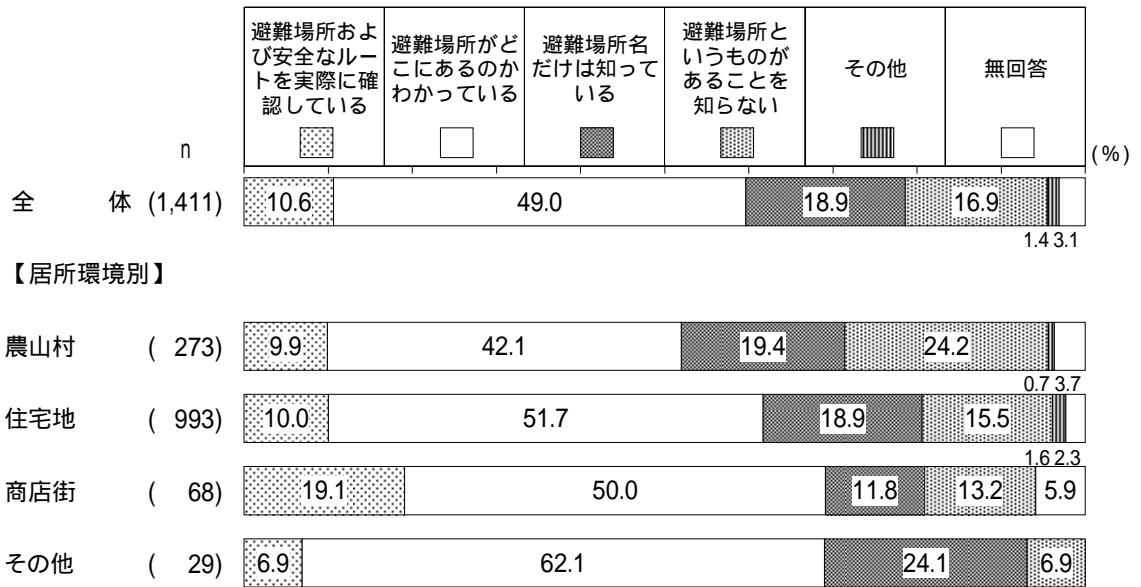
- 全体でみると、「避難場所がどこにあるのかわかっている」(49.0%) がほぼ5割と最も高く、次いで「避難場所名だけは知っている」(18.9%)、「避難場所というものがあることを知らない」(16.9%)、「避難場所および安全なルートを実際に確認している」(10.6%)の順となっている。

[性別・性 / 年齢別]



- 性別で見ると、「避難場所がどこにあるのかわかっている」では 女性（52.7%）が 男性（46.7%）より6ポイント高く、男女間の差が最も大きくなっている。
- 性 / 年齢別で見ると、「避難場所および安全なルートを実際に確認している」では 男性 70歳以上 が21.5%、「避難場所がどこにあるのかわかっている」では 女性 40歳代（61.4%）と 女性 20歳代（61.3%）がともに6割を超え他の年代と比べて高くなっている。

[居所環境別]



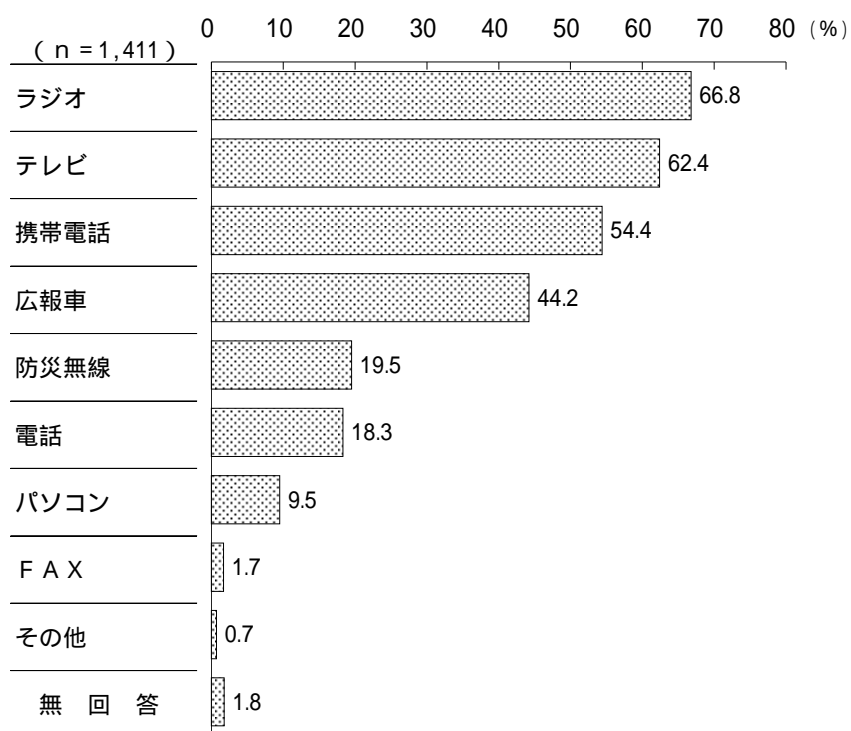
- ・ 居所環境別でみると、「避難場所および安全なルートを実際に確認している」では 商店街 が 19.1%と他の居所環境と比べて最も高くなっている。

(6) 有効な緊急時の情報伝達手段

問 15 緊急時の情報伝達手段として、どのような手段が有効であるとお考えですか。
次の中からいくつでも選んでください。

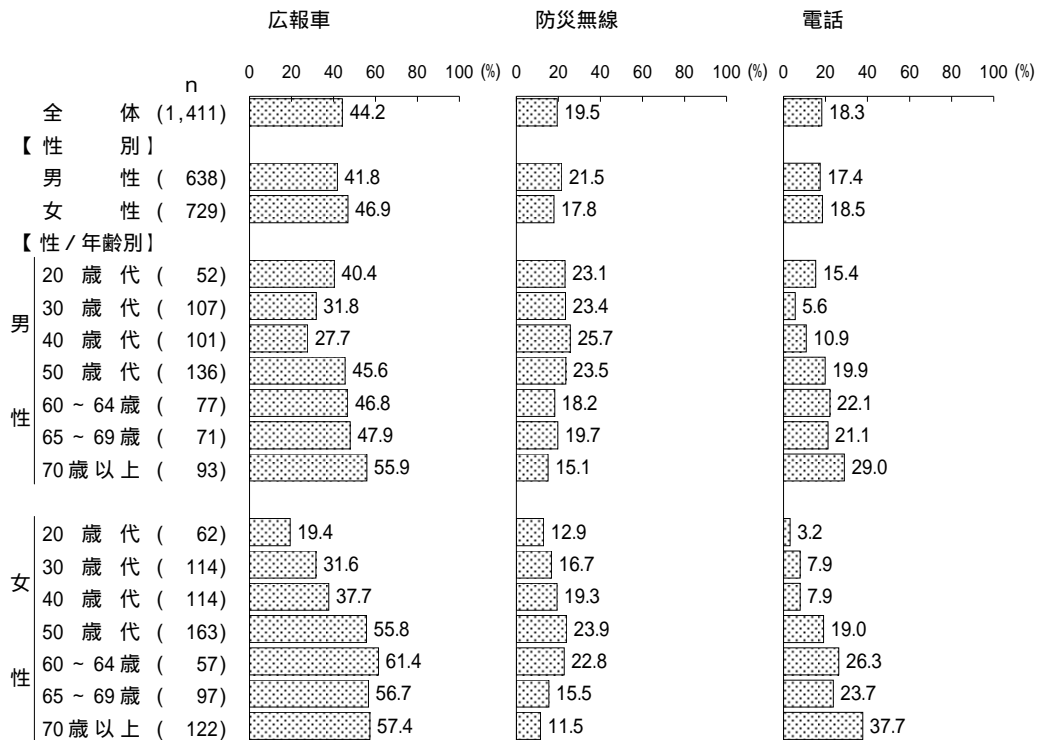
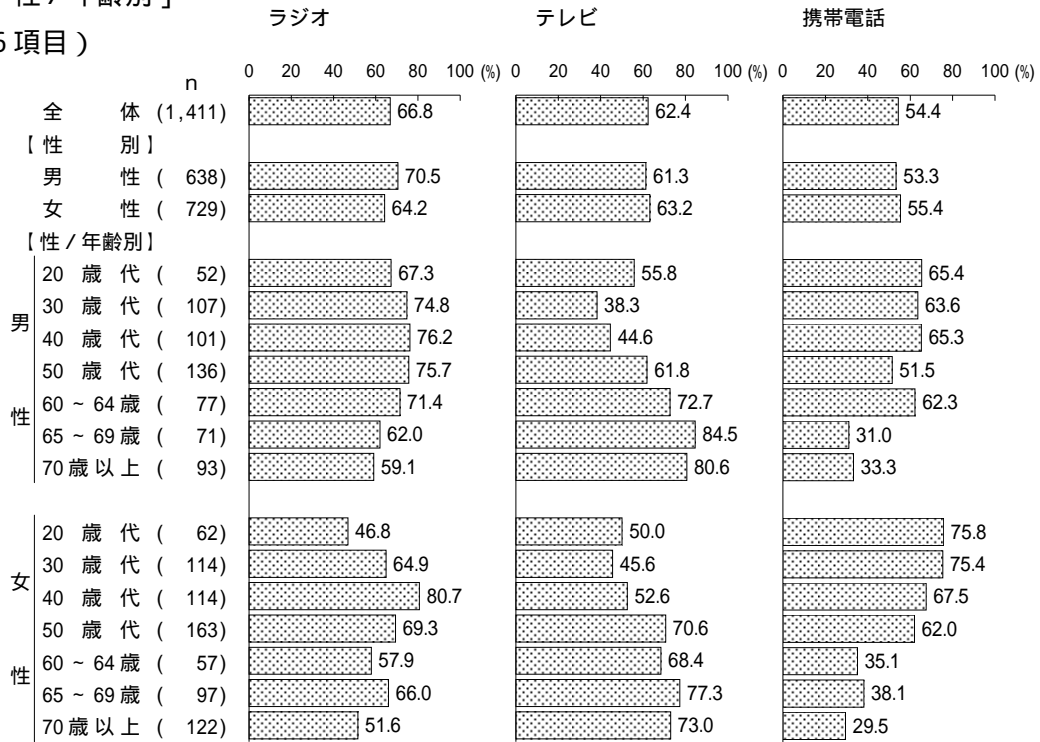
[n = 1,411]

1	テレビ	62.4%
2	ラジオ	66.8
3	防災無線	19.5
4	広報車	44.2
5	携帯電話	54.4
6	電話	18.3
7	パソコン	9.5
8	F A X	1.7
9	その他	0.7
	(無回答)	1.8



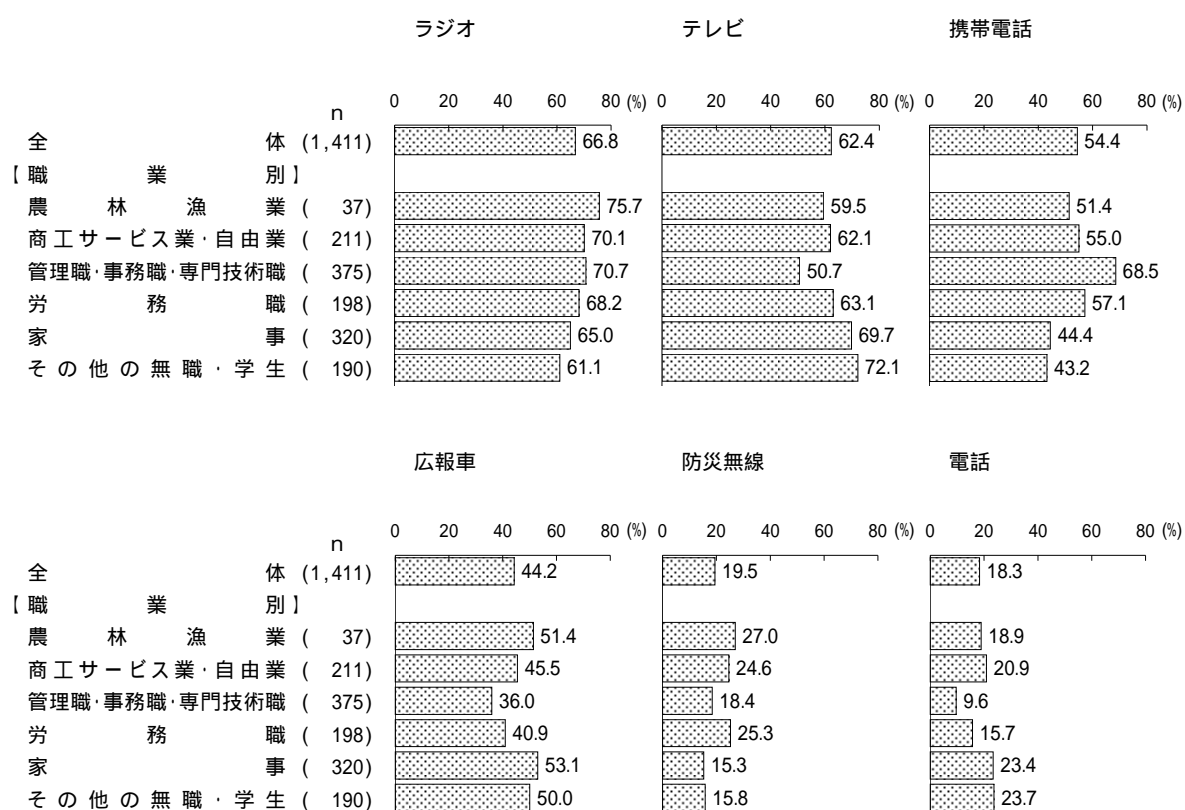
- 全体で見ると、「ラジオ」(66.8%)が7割近くと最も高く、次いで「テレビ」(62.4%)、「携帯電話」(54.4%)、「広報車」(44.2%)の順となっている。

[性別・性/年齢別]
(上位6項目)



- ・ 性別で見ると、「ラジオ」では 男性（70.5%）が 女性（64.2%）より 6.3 ポイント高く、男女間の差が最も大きくなっている。
- ・ 性/年齢別で見ると、「ラジオ」では 女性 40 歳代 が 80.7%、「テレビ」では 男性 65~69 歳 が 84.5%、「携帯電話」では 女性 20 歳代（75.8%）と 女性 30 歳代（75.4%）が 7 割半ば、「広報車」では 女性 60~64 歳 が 61.4%、「電話」では 女性 70 歳以上 が 37.7%とそれぞれ他の年代と比べて高くなっている。

[職業別]
 (上位 6 項目)



- ・ 職業別でみると、「ラジオ」では 農林漁業 が 75.7%、「テレビ」では その他の無職・学生 が 72.1%、「携帯電話」では 管理職・事務職・専門技術職 が 68.5%、「広報車」では 家事 が 53.1%とそれぞれ他の職業と比べて最も高くなっている。